

令和2年 10月16日(金) 第13号



大里東

北九州市立大里東小学校
〒800-0023
門司区中二十町7番1号
TEL 381-4531
文責：山崎 千歳

大里東小学校の校訓：【自律】 【実行】 【礼儀】

2学期制 一区切りの日

正門周辺では、ほのかな甘い香りが漂います。10月上旬からキンモクセイの花が開き始め、今、満開を迎えています。

昨年も、同じ時期に同じように花が咲き、甘い香りを漂わせていたことだと思いますが、今年、こんな近くに秋らしさがあったことに気付いたのは、この時期に一区切りを迎える学校生活に、去年との違いがあるからだろうと思っています。

さて、様々なできごとを過ごしてきた前期でした。長い臨時休校、分散登校、学校再開、給食再開、時程変更、短い夏休み、様変わりした学校行事、授業参観に関しては、未だ実施できていない状況にあります。

振り返るとこの半年間は、その時の状況に合わせながら新たな過ごし方を模索しつつ、ウィズコロナの過ごし方を定着させてきた学校生活のようにも思えます。9月には、2つの学年がバスを利用した校外学習を実施することができました。今月初めには、3学年ずつの2回公演ではありましたが、体育館に集まり、文化芸術巡回公演「小さい“つ”が消えた日」の観劇会を催すことができました。文化芸術体験「琴」の学習も行うことができました。遅れていた耳鼻科や歯科等の保健行事を、全て終えることもできました。対策を取りながらではありますが、教育課程のよりよい実施のために、外部の方に来校いただけるようになったことや、学級単位より多くの人数で活動を仕組むことができるようになったことは、学校生活をより豊かに楽しく過ごすことができるためにも、大変嬉しいことだと思っています。

子ども達は、今年度初めての「あゆみ」を持ち帰りました。担任の先生からは、できるようになったことや伸びたこと、または、取り組み方のよさ等について所見が記されており、それは、子ども達へのメッセージとなっています。書かれていることで学校生活の全てを網羅してお伝えすることはできませんが、このメッセージが成長を再確認する一つとして、お子様と共有していただければと思っています。

保護者や地域の皆様には、多大なるご支援を受けながら、例年にない年度の前期最終日を迎えることができたと思っています。日頃から、学校教育にご理解とご協力をいただきましてきたことに、深く感謝し、お礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

週明けには、後期開始となります。早速、10月23日(金)は、5年生の自然教室の実施予定日となっています。また、10月28日(水)～29日(木)は、6年生の修学旅行実施予定日となっています。どちらも大きな行事で、気象や感染の影響を受けることなく、その日を迎えることができるように切に願っています。

また、後期には対策を十分にとりながら、保護者の皆様に参観していただけるような機会を設定したいと考えています。そして、保護者の皆様と学校とで話題を共有しながら、後期の教育活動を図っていきたいと思っています。

後期も変わらずご支援ご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

